

キャンペーン対象宿泊施設一覧

東山温泉	御宿 東鳳	0242-26-4141
	東山グランドホテル	0242-27-3500
	東山パークホテル新風月	0242-26-3690
	原瀧	0242-26-4126
	今昔亭	0242-27-6048
	庄助の宿 瀧の湯	0242-29-1000
	月のあかり	0242-29-1000
	くつろぎ宿 千代滝	0242-26-0001
	くつろぎ宿 新滝	0242-26-0001
	会津東山温泉 向瀧	0242-27-7501
	東山ハイマートホテル	0242-27-6155
	おやど東山	0242-28-1222
	伏見荘	0242-27-2944
	二洸旅館	0242-27-3400
芦ノ牧温泉	元湯 有馬屋	0242-26-2001
	いろりの宿 芦名	0242-26-2841
	YUKKURA Inn	0242-29-1000

大川荘	丸峰	0242-92-2111
	丸峰	0242-92-2121
	芦ノ牧グランドホテル	0242-92-2221
	不動館小谷の湯	0242-92-2311
	芦ノ牧プリンスホテル	0242-92-2321
	渓流の宿 溪山	0242-92-2031
	仙峡閣	0242-92-2026
	新湯	0242-92-2301
	旅館福泉	0242-92-2236

旅館ホテル組合等	会津若松ワシントンホテル	0242-22-6111
	ホテルニューパレス	0242-28-2804
	ホテル大阪屋	0242-22-5305
	大江戸温泉物語 あいづ	0242-22-0600
	ホテルタカコー	0242-27-7117
	グリーンホテル会津	0242-24-5181
	宿 たかや	0242-22-2265
	料理旅館 田事	0242-24-7500
	たけみ旅館	0242-22-2680
	ふじみ屋	0242-22-2383
	東横イン会津若松駅前	0242-32-1045
	センチュリーホテル	0242-24-1900
	ホテルいづみや	0242-27-5538
	民宿たきざわ	0242-25-3183
kaie Hostel	kaie Hostel	0242-85-6974
	澁川問屋別館	0242-28-4000
	ホテルアルファワン会津若松	0242-32-6868

**地場産品**  
 コロナゼロ  
**総数5,670個が**  
 毎月1回の抽選でドーンと当たる!!  
 キャンペーン期間中に抽選は7回

あいづあかべこキャンペーン概要

この度は、会津若松市へお越し頂きまして誠にありがとうございます。会津若松市では悪い病から守ってくれると信じられている赤べこにちなみ「あいづあかべこキャンペーン」を実施しております。このキャンペーンは、対象宿泊施設に宿泊し、アンケートにお答えいただくと、会津の地場産品が抽選で5,670(コロナゼロ)名様に当たるキャンペーンです。

- 当選者の発送は商品の発送をもって代えさせていただきます。
- 応募期間／2020年8月1日(土)～2021年2月28日(日) 宿泊分のお客様。
- 抽選は9月より月1回実施し順次発送させていただきます。

あいづあかべこキャンペーン参加方法

- 1 宿泊施設でパンフレットをお受け取り下さい。
- 2 付属のアンケートにお答え下さい。
- 3 宿泊施設へアンケート用紙をお預け下さい。
- 4 会津地場産品が当たるかも…。

Aizuwakamatsu Tourism Bureau

会津若松観光ビューロー 未来へ続く、地域を…

TEL:0242-23-8000 e-mail:info@aizukanko.com



AIZU AKABEKO

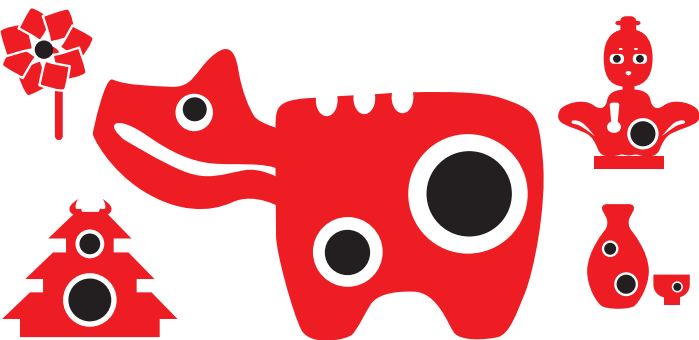
**あいづあかべこキャンペーン**

期間／2020年8月1日(土)～2021年2月28日(日)

Aizuwakamatsu Tourism Bureau

会津若松観光ビューロー

切り取り



こちらからもご参加頂けます



アンケート専用サイト

**あいづあかべこ**  
**キャンペーン**

切り取り

期間／2020年8月1日(土)～2021年2月28日(日) 宿泊分まで

会津の地場産品プレゼント応募アンケート用紙

ふりがな

お名前 年齢 歳

性別 男・女 (どちらかに「○」をお願いします)

ご住所 〒 —

(上記に当選の場合は「賞品」が送付されます)

電話番号 — —

ご宿泊日 2020年 / 2021年 月 日

(どちらかに「○」をつけてください)





——— こだわりの名産品が大集合！

# 会津の地場産品

——— おすすめを数多く取り揃えました！

# をお贈りいたします



## 会津の清酒



会津地方は、飯豊山や磐梯山に囲まれ、山麓から湧き出る清らかで良質な伏流水や地下水に恵まれた土地です。また、盆地特有の気候と積雪の多い厳しい冬は、酒造りに恵まれた条件を供し酒造りは行われてきました。近年では全国新酒鑑評会において、福島県が金賞受賞数、7年連続(2012～2018年酒造年度)日本一という前人未踏の偉業を成し遂げており、その中でも会津地方の酒蔵は数多く受賞しております。受け継がれてきた酒造りの技術と新しい手法を取り入れながら、日々品質の高い酒造りに取り組んでいます。



世界一の酒  
会津清酒



## 会津の食と農



みしらず柿

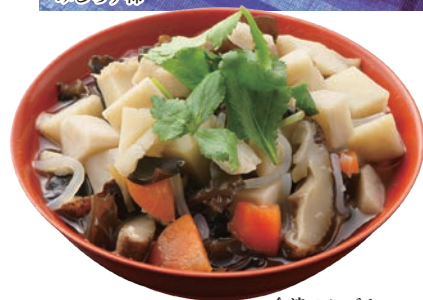
会津のおいしい  
農産物をお届けします



会津盆地に広がる田園風景



雪下野菜



会津のこづゆ

良質な水と大地の恵みを受けながら作った会津地方の農産物。その農産物を使用して作られる代表的な郷土料理の「こづゆ」は、帆立の貝柱でだしを取り、里芋や人参、糸こんにゃく、きくらげ、豆麩等で作るお吸い物です。会津藩のご馳走として振舞われ、現在でもお正月や冠婚葬祭には欠かせない会津を代表する郷土料理です。また、会津若松市の門田地区を中心に「会津みしらず柿」が栽培されています。みしらず柿は会津特産の渋柿で、会津では古くから栽培されてきました。とても食味がよく、毎年皇室へも献上されています。



今に伝わる伝統の技

会津漆器は、天正18年(1590年)に蒲生氏郷が会津の領主となり、漆器産業として推奨したことが始まりとされます。江戸時代には会津松平家の祖、保科正之が漆の木の保護育成につとめ、その後、家老の田中玄宰による寛政の改革で、各地より技術者が招かれ、品質の向上につながりました。幕末の戊辰戦争では、会津漆器も大きな打撃を受けましたが、会津の復興とともに漆器においても復興の取り組みが行われました。現在では、400年を超える会津漆器の伝統を継承しながら、新しい技術も積極的に取り入れ、人々の生活に欠かせないものとなっています。



## 会津の漆器



会津の焼き物  
古くから伝わる、  
民芸品

会津の民芸品の中でも知られている「赤べこ」。今から約400年前に蒲生氏郷が職人を呼び寄せ作ったのが始まりとされています。身体に描かれた黒い斑点は疫病の跡といわれ、近くに置いておくと流行り病から逃れられるなどと伝えられています。また、漆の木の実からとれる蠟を使用したことが始まりとされる「会津絵ろうそく」。菊や藤などの草花の絵が色鮮やかに描かれ、毎年2月には「会津絵ろうそくまつり」が開催され、雪国会津の冬を暖かく照らします。さらに、蒲生氏郷が鶴ヶ城の屋根瓦を造るために、慶山の地に窯場を築き瓦を焼かせたのが「会津慶山焼」の始まりとされています。現在も伝統的な灰釉を使った日常使いの器を作り続けています。



赤べこ



## 会津の民芸

この度は、会津へお越し頂き

誠にありがとうございました。

\*写真はイメージです。



「会津ブランド」からもプレゼント

# AIZU BRAND

## 会津のこだわりと誇り

会津の優れた素材を使用し、会津の伝統・新技術等により会津でしかできない本物にこだわった魅力ある地域産品であることを会津ブランド推進委員会による事業者要件・認定基準・製造過程などの審査を受け、認定された安全で安心できる商品です。

<https://aizubrand.com>

〔会津ブランド推進委員会（会津若松商工会議所内）〕



## 会津の菓子など

蒲生氏郷が千利休の子、千少庵を会津へ招いたことから会津では茶道文化が脈々と受け継がれ、今でも地域に愛される老舗の和菓子屋が残っています。菓子店の中には、



会津藩に伝わる料理献立書や茶会記の中から読みとった菓子を、現代に甦らせている菓子店もあります。現在でも、千家ゆかりの茶室「麟閣（りんかく）」では千少庵の月命日である七日に少庵をしのび、少庵忌「月釜」と称する茶会が開催されています。この時に供される「菓子」も市内の菓子店のお菓子が選ばれています。抹茶と菓子をここでも満喫することができます。（2020年の「月釜」の開催については、お問合せください）

〔鶴ヶ城 TEL.0242-27-4005〕



## 会津のお味噌、醤油など

会津地域には、古来より清酒をはじめとした「醸造文化」が根付いています。味噌や醤油もその一つです。会津風土記「若松風俗帳・文化四年（1807年）調」には、味噌や醤油も商品として記されており、このころから産業として発展していったと考えられています。現在でも郷土料理には会津で作られた味噌や醤油が欠かせない調味料となっています。会津ブランドにも認定をされている味噌・醤油を賞品として送付予定です。



## 会津の農産品など

会津地方は、盆地特有の寒暖の差が大きい気候であり、肥沃な大地と清廉で豊富な水が農業に適した土地といわれています。このような土地で作られた会津米は日本穀物検定協会の2019年食味ランキングで「特A」に位置づけられています。厳選された会津の農産品を送付予定です。



\*写真はイメージです。



会津の工芸品



A collection of five handmade fabric face masks is displayed on a plain white surface. The masks are arranged in a slightly overlapping cluster. From left to right, the masks are: a solid grey one, a pink one with thin yellow horizontal stripes, a solid yellow one, a purple one with thin white horizontal stripes, and a multi-colored striped one with yellow, blue, and red stripes. Each mask has white elastic ear loops. The masks appear to be made of a woven fabric, possibly cotton or linen.



## 会津のお酒

The image shows two bottles of Kita-Aizu Wine on the left. The bottle on the far left is dark with a white label featuring a cartoon illustration of a person in a kimono and the text 'Kita-Aizu Wine'. The bottle next to it is red with a similar white label. To the right, a row of various Japanese sake bottles is displayed, including a blue bottle, a green bottle with a white label, and several other bottles with different colored labels and designs.



会津若松の観光情報はこちらから

[illegible][illegible]

▲会津ブランド サイト

※ご記入いただいた個人情報は、会津若松観光ビューローが責任をもって管理し、他に使用することはありません。※毎月1回抽選会を開催いたします。※5,670名様に会津の物産品が当たります。何が当たるかは楽しみに！※ご当選は商品の発送をもってかえさせていただきます。